



“中1ギャップ”を乗り越えよう！

中学校入学説明会が始まりました。中学校の先生から中学校に向けてのアドバイスをいただきました。

中学生になった時に、新しい環境での学習や生活にうまく適応できないことがあります。

中1ギャップを乗り越えるためにも、入学までにしっかりと準備しておこう。

小学校と中学校の違いは、大きく分けて「学習面」と「生活面」です。



学習面

小学校に比べて勉強量が多くなり、その分授業のスピードが速くなります。また部活が始まることから、限られた時間をどう使うかが大切になってきます。こうした中学校のペースに慣れるため、

→「毎日家庭で勉強する習慣」をつけておこう！

→「集中して勉強する練習」しておこう！

生活面

中学校では「自分のことは自分でする」ことが基本となります。また、教科ごとに先生が変わる授業に対応するのにも、部活動で先輩についていくのにも、かなりの体力と精神力を使うことになり、疲れやストレスが溜まりやすくなります。よいスタートを切るためにも、

→体力をつけるためにも、「生活のリズム」を作っておこう！

→自分の気持ちを自分の言葉で、(相手のことを大切にしながら)「上手に伝える力」をつけておこう！

楽しい中学校生活の基盤は「生活面の充実」！

それがあってからこそ、「勉強でも頑張ることができる！」

成人おめでとうございます



1月10日に、「令和3年成人者のつどい」が勝山さくやホールにおいて行われました。

「開催か、中止か、最後まで悩んだ。」という町長さんのお言葉のようにコロナ禍の大変な状況の中で、「一生一度の門出を祝いたい」という町当局をはじめ多くの方々のご尽力で開催することができ、新成人から「故郷の富士河口湖町に集えた」ことへの感謝の声が聞かれました。この日を迎えられた皆様に心の底から「おめでとう」と、お祝いの言葉を贈りたいと思います。



新成人代表の森萌菜さんは誓いの言葉で「今はこのように先の見えない不安な時ではありますが、私達には明るい夢があります。ここにいる仲間の数だけの、みんな違う希望に満ちた夢があります。その夢を叶える為に、私達は常に感謝の気持ちと謙虚さを心に持ち、粘り強く努力し、丁寧に日々を過ごしていきます。そして、いつか、ふるさと富士河口湖町に、これまで育てて頂いた御恩返しをしたいと思います。」と決意を述べていました。ふるさとで培った様々なことを糧にさらに成長し活躍することを期待しています。

学生ボランティアの活用

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で小学校での学習応援教室は中止となりました。しかし、毎年、指導者として教えていただいている山梨大学の学生ボランティアの方々にご協力いただき、今年度は河口湖北中学校と勝山中学校の2校で学習会を開きました。(参加延べ人数 39人)



目標の実現や課題の克服のために、それぞれが学習課題を持参し、黙々と取り組む姿や学生に積極的に質問する姿が多く見られました。主体的に学習に取り組み、高校や将来の目標に向かって努力している姿に清々しさを感じました。